

東京都の緑のプロジェクト「東京グリーンビズ」の コラボレーションパートナーに決定

— 「サントリー 天然水の森」活動を通じた森林整備など、
“東京の緑を「まもる」「育てる」「活かす」” 取り組みで連携を加速 —



サントリーホールディングス（株）は、東京都が推進する「東京グリーンビズ」のコラボレーションパートナーとして、本日東京都より公表されました。

「東京グリーンビズ」は、東京を「自然と調和した持続可能な都市」へと進化させることを目指し、東京都が昨年7月より推進する“緑のプロジェクト”で、「100年先を見据え、『東京』の『緑（グリーン）』を、都民をはじめ『さまざまな主体との協働（ビズ）』により、価値を高め、継承していく」との考え方を掲げています。

当社が東京都を含む16都府県で推進する「サントリー 天然水の森」活動においても、自治体や民間企業・団体等と連携のうえ、“100年後を見据えた長期活動計画の策定”という方針を掲げています。同活動が、「東京グリーンビズ」のコンセプトとも極めて親和性が高いことから、今回のコラボレーションパートナー決定に至りました。

今年5月、サントリーホールディングス（株）と東京都は、環境保全活動に関する包括連携協定を締結しました（ニュースリリース No.14600 参照）。喫緊の環境課題とされる「生物多様性」「資源循環」「気候変動・エネルギー」の3つの分野でさまざまな取り組みを実施します。

先行して都内4カ所の「サントリー 天然水の森」における森林整備、都庁に設置する自動販売機を通じた「ボトル to ボトル」水平リサイクル活動、次世代環境教育「水育」と東京都主催の自然体験型プログラム等の啓発活動の連携企画などが始まっています。今後も、東京都とともに具体的な取り組みを加速させていきます。

サントリーグループは、自然と水の恵みに生かされる企業として、「人と自然と響きあい、豊かな生活文化を創造し、『人間の生命（いのち）の輝き』をめざす。」をパーパスとし、創業以来、持続可能な社会の実現を目指してきました。

環境保全に関しては、かけがえのない豊かな地球環境を未来に引き継ぐべく、「水」「温室効果ガス（GHG）」「容器・包装」という3つのテーマにおいて「サントリー環境目標2030」を掲げ、さまざまな取り組みをグローバルに推進しています。今後も、持続可能な社会の実現に向けたグローバルな社会課題の解決に向け、グループ一丸となってサステナビリティ経営に取り組んでいきます。

▼サントリーグループのサステナビリティ

<https://www.suntory.co.jp/company/csr/>

▼サントリーグループの「生物多様性」

https://www.suntory.co.jp/company/csr/env_biodiversity/

▼「サントリー 天然水の森」ホームページ

<https://www.suntory.co.jp/eco/forest/>

▽本件に関するお客様からの問い合わせ先

サントリーお客様センター <https://www.suntory.co.jp/customer/>

以 上

水と生きる SUNTORY

自然と水の恵みに生かされる企業として、貴重な水資源を守ること。
さまざまな企業活動を通じて社会に潤いをもたらす、社会にとっての水であること。
社員一人ひとりが水のように自在にしなやかに挑戦できる会社であること。
「人間の生命（いのち）の輝き」をめざす想いを、「水」に託して伝えるメッセージです。